



香川県の 「ライフジャケット推進事業」 の取り組みについて

香川大学教育学部

石川 雄一

ライフジャケットレンタルステーション及び水難事故防止対策強化事業(2021年度)

ライフジャケットレンタルステーション

2021年4月27日 ライフジャケットを寄贈したい企業があるとの話をいただく

保管場所や貸出運営等の検討を始める

2021年5月9日 **丸亀市綾歌町のため池で死亡事故 釣りに出かけた父(33歳)子(6歳)**

2021年5月20日 寄贈受け入れ決定

2021年6月24日 ライフジャケット寄贈式・感謝状贈呈式

2021年6月25日 **ライフジャケットレンタルステーション開始**

各市町教育委員会、幼・小学校へ周知

2021年6月28日 7月末までの予約が埋まる >>>>>>>

**学校現場からのニーズの
高さを感じる**

2020年11月19日 香川県坂出市 与島北沖で旅客船沈没事故

坂出市立川津小学校の修学旅行中の6年生と教員62名が無事に救助される

ライフジャケットレンタルステーション 貸出実績

校種	貸出校数
幼稚園・こども園	2園
小学校	3校
中学校	1校
子ども会等団体	4団体

寄贈枚数が50着
毎週1校が貸出の限界



2021年度事業の振り返り

- 各学校(園)から、「ライフジャケットを使いたい」という声は多い。
- 着衣泳、ライフジャケットの活用等の指導について大切だと感じながらも、指導に不安を感じている教員は多い。
- 専門的な指導をしてもらいたいと感じているが、学校と専門家とのつながりが無い。



ライフジャケットの貸出は、
学校(園)にとってありがたいことだが...



令和の日本型学校体育構築支援事業

令和4年度概算要求額 303,360千円
 (前年度予算額 213,360千円)



背景・課題

学校における体育活動は、体力向上、健康増進、競争心や協調性、他者を尊重する精神の涵養、人間関係の形成など、生涯にわたる豊かな生活を実現するための基礎が培われるものである。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により様々な活動が制限される中、子供たちが運動やスポーツに親しむことができるようにするためには、体育の授業において運動の多様な楽しみ方を共有し、運動が苦手な子供をはじめ全ての子供に、できる喜びを味わわせていくことが求められる。

「令和の日本型学校体育」は、社会構造の変化や感染症・災害等をも乗り越え、子供たちの安全・安心を確保し、技能差・体力差・体格差等に配慮ながら、個々の能力に適した指導・支援を行うことで、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する体育の授業改善を図る。

事業内容

上記の課題に対応した授業研究を行い、その研究成果を全国に発信する。

①GIGAスクール環境下における体育活動の充実

体育における個別最適な学びを充実するために、一人一台端末を活用した授業モデルを研究する「ICT体育推進校」を指定し、実践研究を行う。また、児童生徒の主体的な体育学習を支援するために、授業内外で個々に閲覧・活用できる指導コンテンツを作成する。

【件数・単価】10自治体×約300万円、2団体×約1000万円

②インクルーシブ体育活動の充実

通常学級に所属する障害児の体育見学ゼロを目指し、通常学級の体育授業において障害のある児童生徒が共に学べる学習プログラムの開発を行うとともに、障害児のスポーツ・運動機会を確保するため、個に応じた指導計画・指導内容・指導方法の工夫に関する実践研究を行う。

【件数・単価】10自治体×約300万円

③多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化

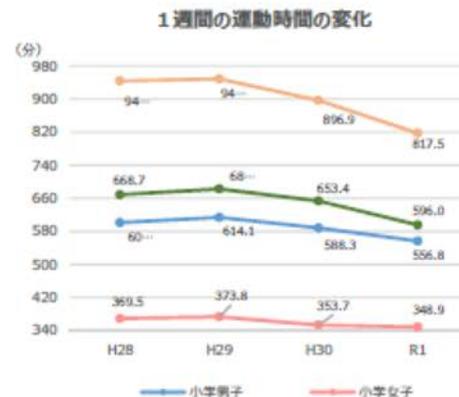
外部指導者の活用や年間指導計画の工夫などにより、我が国の伝統文化である多様な武道種目を学習する保健体育の授業を行う中学校を「武道推進モデル校」に指定した実践研究を行うとともに、武道関係団体による中学校における多様な武道種目の実践の支援体制を強化するための取組等を実施する。

【件数・単価】35自治体×約430万円、9団体×約470万円

④体育活動中の事故防止

全国的な体育活動中における事故防止の意識啓発、関係の取組の充実を図ることを目的として、近年発生した全国的な重大な事故事例の発生の背景や要因、再発防止のための方策について把握・分析を行い、最新の知見の成果等を情報共有し、研究協議等を行う協議会を開催する。また、命に直結する水難事故防止対策を強化する観点から、水泳授業における自己保全のための学習（着衣泳・ライフジャケットの活用など）の指導モデルの研究を行う。

【件数・単価】1団体×約1800万円、5自治体×約200万円



体育の授業は楽しいか×1週間の総運動時間のクロス集計 (上段：小学生、下段：中学生)



(出典) 令和元年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査

別添1

④ 体育活動中の事故防止

全国的な体育活動中における事故防止の意識啓発、関係の取り組みの充実を図ることを目的として、近年発生した全国的な重大な事故事例の発生の背景や要因、再発防止のための方策について把握・分析を行い、最新の知見の成果等を情報共有し、研究協議等を行う協議会を開催する。また、命に直結する水難事故防止対策を強化する観点から、水泳授業における事故保全のための学習（着衣泳・ライフジャケットの活用など）の指導モデルの研究を行う。

香川県教育委員会の事業申請1件のみ

ライフジャケット推進事業研究推進委員会

(目的)

第1条 各学校(園)等の水難事故防止に係る安全教育並びに小学校体育授業の充実を図るため、「ライフジャケット推進事業研究推進委員会」を設置し、各学校(園)等における水難事故防止に係る安全教育の実施状況及び小学校体育授業の在り方、指導方法等に助言するとともに、成果の検証等を行うものとする。

(業務)

第2条 委員会は、次の業務を行う。

- (1) ライフジャケットレンタルステーション及び指導者派遣に係る助言
- (2) 香川県の水難事故防止の取組みに係る助言
- (3) 香川県の小学校体育水泳授業に係る助言
- (4) ライフジャケット推進事業報告による事業の検証

(組織)

第3条 委員会の委員は、学校体育授業水泳領域に関する有識者、水難事故防止に関する有識者、関係行政機関の職員のうちから、香川県教育委員会教育長が委嘱または任命する。

所属	役職
香川大学教育学部	教授
香川県防災センター	センター長
高松海上保安部 航行安全課	課長
高松市国分寺B&G海洋センター	所長
香川県ライフセービング協会	委員
香川県総合プール	所長
子どもたちにライフジャケットを！	代表
香川県教育委員会事務局保健体育課	課長

事業目的

※本事業は、スポーツ庁の「令和の日本型学校体育構築支援事業-学校における水難事故防止対策強化-」の委託を受けての実施となります。

海や川、池などで様々な活動を行うことは、自然に囲まれた日本で生活する私たちにとって日常的なものである。しかし、毎年のように水難事故は発生しており、児童生徒がそれらの事故で命を落とすこともしばしばある。

そこで、水難事故防止につながる取組みとして、ライフジャケットの無料貸出を行い、ライフジャケットの必要性や使用方法を体験的に学ぶことができる機会を確保するとともに、ライフジャケットや着衣泳の指導者の派遣を行う。また、ライフジャケットの意義や重要性を実感するライフジャケット親子体験会を行うとともに、体育・保健体育科教員への安全確保につながる運動の研修を行い、安全教育並びに水泳授業の充実を図る。

ライフジャケットレンタルステーション /学校における水難事故防止対策強化事業

- 目的： 各学校の安全教育の充実及び体育・保健体育科の安全に関わる学習指導の充実、ライフジャケットの普及・啓発を目指す。
- 内容： 要望のあった香川県内の学校（園）及び児童生徒の指導を行う団体等に対して、ライフジャケットの貸出を無償で行う。さらに、ライフジャケットや着衣泳の専門的指導ができる講師を派遣する。



- 貸出対象： 県内の幼、こども園、小、中及び児童生徒に係る団体
- 派遣講師： 1か所につき1～2名（謝金、交通費支給※県規定）
香川大学、高松海上保安部
香川県 B&G 財団連絡協議会 等
- 貸出物品： ライフジャケット子ども用 M100 着（現在 25 着有り）
ライフジャケット子ども用 M100 着（現在 25 着有り）
ライフジャケット大人用 40 着（現在無し）
- 備考： 令和3年度ライフジャケット貸出実績あり
 - ・幼・こども園…2件
 - ・小学校…2件
 - ・中学校…1件
 - ・その他団体…4件



ライフジャケット親子体験教室

- 目的： 水辺の事故を防ぐために、ライフジャケットの意義と重要性を実感する機会をつくる。
- 内容： ライフジャケットの使用方法等を踏まえた体験会
- 対象： 県内の小学生及びその保護者20組
- 会場： 香川県総合水泳プール屋内競技場
- 月日： 6月11日（土）10：00～12：00
- 講師： 指導者4名（謝金、交通費支給※県規定）
- 備考： 参加者の保険加入（県負担）

研修会「子どもがときめく授業づくり『安全確保につながる運動』」

- 目的： 香川県内の小学校、中学校保健体育科教諭における、水泳領域の「安全確保につながる運動」の指導の充実を図る。
- 内容： 水泳領域の「安全確保につながる運動」の指導法等
- 対象： 県内の小学校、中学校保健体育科教諭 20～30名
- 会場： 香川県総合水泳プール屋内競技場、会議室
- 月日： 8月2日（火）13：30～16：25
- 講師： 指導者2名（謝金、交通費支給※県規定）
- 備考： 体育授業に関する研修の1つに設定（他領域研修有り）

研究推進委員会

- 目的： 本事業の成果と課題等を、有識者等を交えて検討し、香川県の安全教育の充実並びに安全意識の高揚を図る。
- 月日： 5月12日（木）、11月上旬予定



使おう！ ライジヤケ

香川県教育委員会は、
子どもライフジャケットを“無料”で貸し出す
「ライフジャケットレンタルステーション」
を開設しています！
各学校（園）及び幼児・児童・生徒を
引率・監督する団体の皆さま！
プールや海、川などでの活動の際に、
このライフジャケットを活用ください！

貸出要領、貸出申請書は
保健体育課 H.P から



貸出する子どもライフジャケットについて

◆ライフジャケットのサイズ

Mサイズ 25着（身長 85cm～125cm）
Lサイズ 25着（身長 125cm～155cm）

◆貸出対象

幼稚園、こども園、小学校、中学校
幼児、児童、生徒を引率・監督する県内の団体

◆貸出申込み窓口

下記の間合せ先まで

◆貸出・返却時間

平日の9時～17時

◆貸出期間

原則1週間以内

◆物品受取場所

香川県教育委員会事務局保健体育課
〒760-8582 高松市天神前6番1号4階
香川県総合水泳プール
〒761-8042 高松市御蔵町 1585-1

まずは下記の間合せ先までご連絡ください

【間合せ先】

香川県教育委員会事務局保健体育課（担当：増田）

TEL 087-832-3764

FAX 087-806-0235

E-mail hv3150@pref.kagawa.lg.jp

第1回 ライフジャケット 親子体験教室 **開催**

日時 6月11日(土)
10:00~12:00

対象 小学生とその保護者
20組(40名) ※先着順

会場 香川県総合水泳プール
屋内25mプール
(高松市御蔵町1585-1)

会費 無料

右記より
お申込み
ください

QR
コード

URL
5月23日(月)から受付開始
※先着20組となります。
申込受付された方は後日、メールにて
当日の内容についてお知らせします。



【親子体験会問合せ先】

香川県教育委員会事務局 保健体育課

TEL 087-832-3764

E-mail hv3150@pref.kagawa.lg.jp

本格的な夏に突入する前に 親子でライフジャケットを体験してみませんか

まもなく、海や川等の水辺のレジャーシーズンに入ります。しかし毎年、全国で小学生の水辺の事故が発生しています。「いつも遊びに行っている場所だから…」 「家族も一緒だから…」 そのような理由で、ライフジャケットを着用せずに遊びに行っていないませんか？
水辺の事故によって、命を落とすケースは多くあります。

香川県教育委員会では、ライフジャケットの重要性、必要性を体感してもらうために、ライフジャケット親子体験教室を開催します。

ぜひ、親子でライフジャケットを体験し、この夏、安全で楽しく水辺のレジャーを満喫してください。

当日の流れ

- 09:30 受付開始(プール正面玄関)
※更衣室で着替えて室内プールサイドへ
- 10:00 開会式(プールサイド)
- 10:05 活動①
「親子で何も着けずに
浮かんでみよう!」
- <休憩>
- 11:00 活動②
「親子でライフジャケット
を着けて浮かんでみよう!」
- 11:50 閉会式

当日の準備物・留意点

- 水着
- 水泳帽
- ゴーグル(必要な人のみ)
- タオル
- 飲料



- ✓使用するライフジャケットは、**県教育委員会が準備します。**
- ✓参加者は、「スポーツ安全保険」に入ります。費用は県教育委員会が負担します。
- ✓参加者のご家族は、参加者以外2名まで観覧できます。参加者と一緒に受付までお越しください。
- ✓写真及び動画撮影は禁止しています。ご協力をお願いします。
- ✓感染症対策として、受付時に検温を実施しますが、当日、体調不良・発熱がある方は参加を見合わせてください。
- ✓観覧席で観覧される方はマスクの着用にご協力ください。

指導者

香川県B&G財団連絡協議会指導員

研修会「子どもがときめく授業づくり『安全確保につながる運動』」

- 目的： 香川県内の小学校、中学校保健体育科教諭における、水泳領域の「安全確保につながる運動」の指導の充実を図る。
- 内容： 水泳領域の「安全確保につながる運動」の指導法等
- 対象： 県内の小学校、中学校保健体育科教諭 20～30名
- 会場： 香川県総合水泳プール屋内競技場、会議室
- 月日： 8月2日（火）13：30～16：25
- 講師： 指導者2名（謝金、交通費支給※県規定）
- 備考： 体育授業に関する研修の1つに設定（他領域研修有り）

水難事故防止対策強化事業

【事業内容】

研究対象校	香川県内の小学校
研究対象内容	着衣のまま水に落ちた場合の対処の仕方やライフジャケットの活用の仕方など、水泳授業における自己保全のための学習の指導内容や指導方法等の工夫について
研究校数	3～5校程度

【講師について】

- ・ 香川大学教育学部 教授
- ・ 高松海上保安部 職員
- ・ 香川県B&G財団連絡協議会 指導員 等

5/31現在

県内13校から申請が上がっている

延時間数 約36時間